

他、専門の医師による以下の検査も受けられます。

肺CT精密検査



胸部CT検査とは？

X線を使って胸部の断層写真を撮影する検査方法で、人体を透過したX線をコンピューターで処理して体の輪切り像を作ります。

この輪切り像を積み重ねることで、肺の状態や働きを詳しく観察します。

胸部CT検査で何がわかるのか？

肺や気管、気管支などの病変を発見します。特に肺がんの診断には欠かせない検査となっています。肺がん、肺炎、肺結核、肺気腫、気管支拡張症などの病気を発見するのに適しています。

前立腺精密検査



前立腺がん検査とは？

スクリーニング検査として、血液検査で前立腺がんの腫瘍マーカーであるPSA(前立腺特異抗原)を測定します。PSA検査を受けることで、前立腺がんで命を落とすリスク、がんが転移するリスクが下がります。これは信頼性の高い大規模な調査で明確に証明されています。また、早期発見につながることで、治療の選択肢が増えることもPSA検査の利点です。前立腺がんは50歳を過ぎると罹患率が急激に増加するため、50歳を過ぎたら1年に1度PSA検査を受けることが推奨されています。PSAが正常値(一般的には4.0ng/mL以下です)を超えている場合は、直腸指診や超音波検査、前立腺針生検(組織検査)といった精密検査を組み合わせることで前立腺がんを診断します。

アクセス

当院は、地下鉄七隈線「野芥駅」真上にあり、病院前にバスも停車するご来院しやすい病院です。また、都心にありながら駐車場も多数ご用意しております。無料送迎バスもございますので、お気軽にご利用ください。

公共交通機関

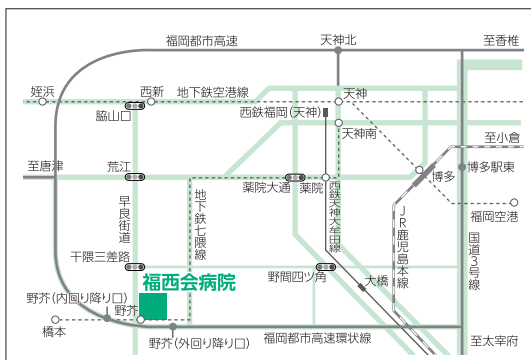
【地下鉄】 七隈線 野芥駅にて下車(2番出口すぐ)

【バス】 野芥駅前にて下車(降りてすぐ)

都市高速から

野芥ランプ

福岡高速5号線・野芥ランプより、外環状線を直進「野芥口」交差点そば…約1分



精密検査診療時間

【診療日】 月～金曜日(日曜・祝日除く)

土曜日は週によって検査可能

【診療時間】 8時45分～12時30分(月～金(土))

13時30分～17時00分(月～金)

★検査部位によっては、午後の検査ができない場合もあります。

【専用ダイヤル】 092(861)0015

※当院では初診時における特定療養費はかかりません。



北九州病院グループ
社会医療法人 福西会 福西会病院

〒814-0171 福岡市早良区野芥1丁目2-36
TEL 092(861)2780(代表) FAX 092(861)2111(代表)



人間ドック・健康診断(一次健診)等で
「要精密検査」「要治療」と判定された方へ
**胃・大腸等精密検査(二次検診)
のご案内**



- ✓ 鎮静剤を使用したカラダに優しい検査
- ✓ 女性の方も安心いただける検査体制
- ✓ 内視鏡画像診断支援ソフトウェアを採用

事前予約制

専用ダイヤル | 092(861)0015



北九州病院グループ
社会医療法人 福西会 福西会病院

〒814-0171 福岡市早良区野芥1丁目2-36

胃内視鏡精密検査



胃内視鏡検査(胃カメラ)とは?

胃痛や潰瘍、胃もたれ、胸やけなどの症状の原因を調べるために行う検査です。

日本人にもっとも多いと言われる胃がんの早期発見・早期治療のためにも、40歳を過ぎたら、年に1度は検査を行いましょう。また、ピロリ菌に対する検査も行なっています。

当院の胃内視鏡検査が 苦しくない3つの理由

1 体への負担が少ない検査が可能です。

鎮静剤を使用することで眠っている間に検査が完了します。検査時間は、通常5分程度です。



2 鼻から入れる内視鏡は「オエッ」となりません。

鎮静剤が使用しづらい方のために、鼻から挿入する細径スコープも常備しています。喉の奥を刺激しにくいので、起きていても楽に検査をうけることが可能になります。



3 オリンパス社製 次世代内視鏡システム「EVIS X1」を導入しました。

オリンパス社独自のテクノロジーによりスクリーニングから診断・処置に関して、それぞれのステップにおいて内視鏡診察の質が向上します。従来システムよりもはるかに高画質となっており、がんの早期発見・早期診断がしやすくなっています。

大腸内視鏡精密検査



大腸内視鏡検査(大腸カメラ)とは?

大腸ポリープ、大腸がんなどの早期発見・治療に用いられる検査です。

大腸全体を詳しく観察できるため、小さな病変や出血の様子なども確認することができます。大腸がんの85%が良性のポリープから進展してがんを発症するため、ポリープのうちに発見し切除すれば、大腸がんにならず根治できる可能性が高くなります。

当院の大腸内視鏡検査の 4つの特徴

1 痛みや不快感を感じないように、鎮静剤を使用して行うことも可能です。

検査時間は観察のみであれば20分程度で、眠っている間に検査が完了します。なるべく大腸に負担をかけないように丁寧に腸を折りたたみながら挿入するように心がけています。

3 内視鏡画像診断支援ソフトウェアを採用。

病変の腫瘍・非腫瘍の判別を検査中にリアルタイムに行うオリンパス社製の診断支援ソフトウェア「A I内視鏡EndoBRAIN」を導入しています。撮影された大腸の超拡大内視鏡画像をAI(人工知能)が解説し、高い診断精度で医師の診断をサポートします。



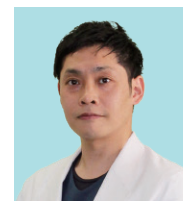
2 検査と同時に外来でのポリープ治療も可能です。

検査でポリープが見つかった場合、小さなポリープであれば、そのままポリープ切除までを日帰りで行うことが可能です。サイズの大きなポリープは、後日改めて入院での治療が必要となりますので、あらかじめご了承ください。

4 女性の方も安心して受診できます。

当院の内視鏡センターは女性の方も安心して検査していただけるよう専用の待合室・トイレをご用意し、ストレスや不安を軽減できるよう丁寧な対応を心がけています。検査で鎮静した場合は、鎮静剤の効果なくなるまでリラックスしてお過ごし頂けるようリカバリー室をご用意しています。

ごあいさつ



内視鏡センター長
樋口 徹

令和3年4月より内視鏡センター長として就任いたしました。

それに伴い、新たに「胃・大腸精密検査部門」を立ち上げる運びとなりました。

この「胃・大腸精密検査部門」では、主に「要精密検査」「要治療」と判定された方に対する精密検査・治療を行っています。

二次検診は一次健診で指摘された所見が、治療が必要なものかどうかを詳しく調べるためのものであり、二次検診を勧められたからといって必ずしも重大な病気が存在している訳ではありません。但し、ピロリ菌感染の可能性がある指摘された方、胃X線検査での異常を指摘された方、大腸がん検査で便潜血反応陽性となった方は、受診されることをお勧めします。

「内視鏡検査=怖い検査」といったイメージをお持ちの方は多くおられると思います。「怖い」の意味には、①「何か病気が見つかったらどうしよう」といった検査への不安、②検査そのものによる苦痛や不快感の2種類があります。

そういった不安をお持ちの方にも、安心して検査を受けていただけるように当センターでは、ご希望があれば鎮静剤を安全に使用する事で、安心感を提供できることと思います。

加えて医師・看護師・臨床工学士らによる「チーム医療」を行うことで、更に質の高い内視鏡検査が実施できるよう取り組んでおります。

平日は午前・午後、土曜日も週によっては検査対応可能ですので、まずは気軽にお問合せください。